



晴れやかに20歳の門出

議会だより

せら



No.16 平成21年2月13日発行

■ 今月の主な記事

- 正副議長インタビュー 2
- 議会構成 3
- 議会審議 4~5
- 委員会調査 6~8
- 一般質問 9~15
- 元気な人紹介 16

主な記事



副議長

奥田 正和

A 役割りとして小川議長を支えるのは勿論だが、議員各位が町の執行部と活発な議論が出来るよう努力する。

財政硬直化で住民サービスの低下とならないためにも、将来、『世羅町に住んで良かった』と言つて頂ける、新しい発想の上で提案型の議会でありたい。昨年は世界的に「変」の年だったが明るい話題で進みたい。

Q 行財政改革まつただなかでの副議長就任。その抱負は。

A 提案型の議会を



議長

小川 信晃

A 自治体全てが自己責任、自己決定の下で行なわれるべきだが、一向に改革ののろしが上がらない。その改革を誰が手がけるかといえばその役目は議長である。よつて立候補した。今、浅学非才の私にできるかなと全身身震いがしている。議員各位のご支援のもと、一步でも前進し、分権時代にふさわしい議会にしたい。

Q 行財政改革まつただなかでの議長就任。その抱負のほどは。

山積する課題 議会の責をどう果す

正副議長にインタビュー

時代の要請にそつた議会をめざす

Q 行財政改革まつただなかでの議長就任。その抱負のほどは。

政策提案できる議会

Q 小学校再編、少子高齢化等々課題が山積するなか、議会の使命が問われるのでは。

A 課題は山積するが、先ず緊急課題は金融危機によって起こっている地域経済の冷え込みを何としても最小限に止める事である。財政に狂いが生じると自治体の持続に影響を及ぼす。議員も使命感をもつて一丸となって、情報をキヤツチ政策提案し、対応してゆく所存である。

Q 小学校再編、少子高齢化等々課題が山積するなか、議会の使命が問われるのでは。

A 議員は課題の中身をもつと調査し熟知する事が必要と思う。そのためにも現場に出向き町の繁栄を願い鋭意努力しなければならない。議会報告会も工夫し、CATVや広報を活用して町政に関心を高めて頂きたい。事理一致の如く研鑽してゆく。

世羅町議会（構成表）

H20年11月11日現在

10月26日投開票の世羅町議会議員一般選挙で選出された16人の新議員での初議会が11月11日に開かれた。新しい議会の構成は表のとおり。

■正副議長

議長	小川信晃
副議長	奥田正和

■監査委員

監査委員	仲行洋
------	-----

■常任委員会・議会運営委員会（任期は2年）

名称	人数	委員長・副委員長・委員							
総務文教常任委員会	8	委員長	中村幸雄	副委員長	福田豪	委員	西田美喜男 矢山武 豊田勲	岡田安佐 福田	武士長秀 義人
産業建設常任委員会	8	委員長	永田英則	副委員長	仙光保喜	委員	徳光義昭 仲行洋 奥田正和	能登松本小川	哲夫秀治信晃
議会運営委員会	6	委員長	豊田勲	副委員長	徳光義昭	委員	安佐長秀 永田英則	仙光中村	保喜幸雄

■特別委員会

名称	人数	委員長・副委員長・委員						
尾道松江線調査特別委員会	7	委員長	安佐長秀	副委員長	能登哲夫	委員	西田美喜男 仙光保喜 中村幸雄	豊田勲 永田英則
議会広報広聴調査特別委員会	6	委員長	福田義人	副委員長	松本秀治	委員	西田美喜男 福田豪	安佐長秀 奥田正和
公共下水道事業調査特別委員会	8	委員長	徳光義昭	副委員長	岡田武士	委員	矢山武 仲行洋 松本秀治	福田義人 福田豪 奥田正和

■一部事務組合議会

名称	選出方法	人数	議員名
三原広域市町村圏事務組合議会	選挙	3	議員 徳光義昭・福田豪・小川信晃
世羅三原斎場組合議会	あて選職挙	5	議長 小川信晃 議員 岡田武士・矢山武・安佐長秀 仲行洋
世羅中央病院企業団議会	あて選職挙	4	議長 小川信晃 議員 福田義人・仙光保喜・松本秀治
広島中部台地土地改良施設管理組合議会	あて選職挙	4	議長 小川信晃 議員 能登哲夫・永田英則・中村幸雄
甲世衛生組合議会	あて選職挙	4	議長 小川信晃 議員 西田美喜男・豊田勲・奥田正和
後期高齢者医療広域連合議会	選挙	1	議員 小川信晃

産直市場

施設の指定管理を更新



甲山いきいき村

町内農産物の直販施設として、また情報の発信基地として、農業振興の拠点となつていい。「せら農業公園」など6つの産直施設の指定管理が3月で満了する。

議員からは「これら

は、農業施策のひとつとして設置しており、その目的にそつた管理・運営が求められる」「運営のほとんどは指定管理者の負担となるため、経営の安定性が求められる」などの質疑があつた。

これに対し「冬期間の入込客対策の必要な施設もあるが、おおむね経営は安定し、継続性もある」旨の答弁だつた。

審議の結果、6施設とも現在の指定管理者に、5年間継続させることに決した。

行財政改革と、現状の児童、生徒の減少傾向の続くなか、隣接する甲山学校給食センターと世羅学校給食センターを統合し、効率的によりよい学校給食を提供するため学校給食センター設置条例の一部改正を求めたもの。賛成多数で可決した。

12月定例会は12月9日に開会した。初日は、提出されていた陳情・請願の審査を所管委員会へ付託した。その後10日にかけ、提案された28議案の審議を行い、すべて原案どおり可決した。

一般質問（9頁～11頁）は11・12日に行い、15日～17日は、各々の委員会調査をした。最終日の19日は任期が満了する選挙管理委員とその補充員の選任を行つた。（8頁）また委員会で審査された陳情・請願とそれとともになう意見書（8頁）の採択を行い、11日間の会期を終了した。

直販施設 指定管理者は継続

法施行令が改正されたことに伴い、世羅町の関係する条例も整合性をもたせるため改正することが提案された。議員から「上場株式の配当にかかる税制が不十分で、所得隔差を拡大するのでは」との質疑もあつたが、法改正に伴うものであることから可決した。

条例改正

◎世羅町税条例の一部改正と国民健康保険条例の一部改正

これまで前年度を基礎として暫定的に算定していた国保税・介護保険料を、確定所得での本算定に一本化するもので可決。

これまで前年度を基礎として暫定的に算定していた国保税・介護保険料を、確定所得での本算定に一本化するもので可決。

長期継続契約

締結できる契約は、①事務機器など商習慣上複数年度にわたる物品、②ソフトウエアの使用許諾契約のうち継続的使用する必要があるもの。③警備やエレベーター保守、収集運搬業務などの毎年度当初から役務の提供を受ける必要があるもの。

契約の期間は5年間以内とし、税金活用に有効な場合など町長が特別に認めた時はこの限りでない。全会一致で可決。

補正予算

一般会計では主に農林水産事業費・土木費・教育費で減額補正となつた。内容は集落法人育成の交付金が目標面積未達成により減つた事、町道改良舗装工事などが道路特定財源のあおりで減額となつた。教育費の中では公民館職員の給与を計上してい

たとのことで、5千6百万円も減となり当初予算のあり方が問われる。企業参入促進補助として空口団地へ新規ぶどう植栽1千5百万を計上した。

国民健康保険税などの特別会計補正は、職員人事異動に伴つ件や、

前期および後期高齢者

たとのことで、5千6百万円も減となり当初予算のあり方が問われる。企業参入促進補助として空口団地へ新規ぶどう植栽1千5百万を計上した。

国民健康保険税などの特別会計補正は、職員人事異動に伴つ件や、

前期および後期高齢者

ぞれの負担金にて事業を継続する。

三原広域市町村圏の創造的、一体的な振興整備のために両市町で基金を10億円積み立てその利息で事業を行なつてきた。

世羅駅伝補助、サッカーレのサンフレッチェ

応援ツアーや、広島交響楽団鑑賞、小学生の交流体験事業などの事業を廃止する。

基金は出資割合にて按分して、約3億円と利息分を世羅町に帰属させる。今後は、それ

三原広域



交流体験 ピーマン選果場見学

字の区域の変更

H14年度より西伊尾地区において実施されたいた圃場整備事業で字の変更が必要となつた。全会一致で可決。

町道路線

世羅中央線（広域農道）小国六反田より黒川までの4千2百30mを町道管理する路線変更。総延長2万5千百90m。賛成多数で可決。

ケーブルTV事業にてNTT柱295本が強度不足となるため自営柱で対応する。（前回は中国電力の柱で補正）2千6百万の増とな

工事請負

ケーブルTV事業にてNTT柱295本が強度不足となるため自営柱で対応する。（前回は中国電力の柱で補正）2千6百万の増とな

り、13億9千5百万円。1工区で追加加入申し込みが113件あり、現在の加入率は約65%。ネットは6・6%が登録。敷地料は年間9百30円。三原テレビと地主との協議となる。工事期間を1ヶ月延長し3月27日とする。賛成多数で可決。



ケーブルTV架線工事

報告します

委員会での調査 《今回より再編》

3→2常任委員会・4→3特別委員会に
次世代に負担をかけないためにも熱心に議論

総務文教常任委員会

①新年度予算方針

国の歳出見直しによ

る補助負担金の一般財

源化や交付税の配分も

さらに厳しくなる。町

税も課税客体が少なく

増加は見込めない。基

金繰入の抑制が重要。

歳出は、厳しい財源

状況が続く中、「行財

政改革推進プラン」を

着実に推進してゆく。

事業の重点化や定員の

適正化など事務経費の

削減など図る。農業・

健康・住民自治活動・

教育・上下水道整備に

特化し、さらに行政改

革に取り組む。

財政再建は確かに

な裏付けが必要

財政推計に基づ

いて着実に進め

ている。H26年までに

は公債比率16・8%ま

で持つてゆく。

農業振興策は

③幼児保育・幼児教育

法人化と土地の

利用集積、圃場

整備も進めている。6

次産業の育成を図る。

の竣工予定で3歳未満

の児童が中心となる。

認定保育園の建設進

捲率は30%。3月下旬

の児童が中心となる。

②認定こども園の

住民アンケート分析

調査結果は、「しっかりと

りとした医療が確保できれば1つでよい」が

64%となっている。

今後の病院経営につ

いては「両病院の統合

など市町の枠を超えた

対策も検討すべき」41・

2%が最も多い。

今後、出てくる将来

像について収支計画と

合わせて検討する。

公立病院の現状・

実態と今後は

A 今後の将来像は、

いろんなパター

ンがあるが、シユミレー

ションの中で検討する。

落ち込みである。

電力供給は必

要なく、入

所予定児童

数に必要な

保育士を配置すること

で認定され

る。

③産業建設常任委員会

産業建設常任委員会

商工労働の現況

・現地調査

商工労働の現況

山田川ダム下流取水場

・現地調査

山田川ダム下流取水場

上下水道運営の考え方

・事務調査

上下水道運営の考え方

環境問題

環境問題



建設中の認定こども園

定（値上げ）で出発す

る事になる。浄化槽も

定していい。公平妥

当で経営の健全化のも

と原価回収の水準を設

定した。西世羅地区、

公共下水道とも料金改

善勧告後に豚舎は定

より対策を考えている。

改善勧告後に豚舎は定

例視察を受け入れた。

A 経験

は必

要なく、入

所予定児童

6

尾道松江線調査特別委員会

・事務調査

工事後の整備を要望

工事車両の通行にと
もない県道がいたみ、
その対策と対応を求
めた。関係機関に伝え要
望してゆく。インター
付近の設備など経済的
効果の考えは、観光に
寄与するので国に要望



新川地区調査



H22年春開通予定
(仮)甲山インター付近の工事現場
世羅の町にどう活きる…

公共下水道事業調査特別委員会

現地調査

マンホールへの接続
が斜めで無駄ではない
かとの指摘に、密集地
で迂回路がなく全面通
行止めも不可能だ。現
場では入札後の柵の変
更もでてくる。

・事務調査

Q 下水道料金を大
幅改定すれば加
入率が低下するのでは。
改定後に説明をすべき
だ。

A 規模が小さく採
算性が低いため

公共下水道使用料金改定の概要(案)

○基本料金(10m³/月まで)

1,470円⇒3,150円

上水道使用者は別途水道料金が必要

○受益者負担金・分担金

アパート・事業所等1個の柵で複数の受益者の場合

32万円/柵→最高52万円/柵

(6世帯以上または建物面積1200m²以上)

一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない。経営健全化計画策定し改定案の検討を行なった。県への收支計画提出に大きな変更はないが、実情にあつた加入戸数で再計算した。

保育所設置条例の変更

議会議員選挙後の発議会(H20年第3回臨時会)は11月11日(期間1日間)に行われた。地方自治法の規定により、年長議員の西田美喜男議員が臨時議長を務め、議長に小川信晃議員を選出した。その後小川議長のもと、議会構成(三頁参照)を決めた。さらに議員発議による世羅町議会委員会条例の一部改正のほか、人事同意4件議案1件が会議に付された。

初議会

議長に 小川 信晃氏
副議長に 奥田 正和氏

H20年第3回 臨時会

A 9月の町広報で
募集案内し、10
月15日を締切りとし、
保育所ごとに名称募集
した。62名で2百46件

Q 公募の状況や内
容、さらには決
定の経緯はどうなつて
いるのか。

A 9月の町広報で
募集案内し、10
月15日を締切りとし、
保育所ごとに名称募集
した。62名で2百46件

議員数を減じたため
三常任委員会を二常任
委員会とする。

委員会条例の変更

Q 人事の選任同意
A 監査委員(議会選任)
副町長 金尾 伸行
教育委員 大谷 敏郎
敏郎 洋

皆さんからの
陳情と請願
このように決めました

■採択となつたもの

◎世羅町教育の更なる充実に努めてほしい。

提出者 社団法人 広島県教育会世羅支部
会長 石光 昭也

◎協同労働の協同組合法（仮称）の早期制定の意見書
を国に提出してほしい。

提出者 「協同労働の協同組合」法制化を目指す
広島市民会議準備会

事務局長 渡口 政也

◎保険業法改定の趣旨に沿つて自主共済の適応除外の意見書を国に提出してほしい。

提出者 広島県保険医協会 理事長 長谷 憲

◎業者婦人の健康と営業を守り、「所得税法56条の廃止」の意見書を国に提出してほしい。

提出者 尾道民主商工会婦人部 部長 橋本喜世子

◎地域医療の確保・介護職員の増員を求める意見書を国に提出してほしい。

提出者 広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

広島県社会保障推進協議会

佐々木 宏・澤田カヨ子・橋本 和正

◎「後期高齢者医療制度」の廃止の意見書を国に提出してほしい。

提出者 広島県労働組合総連合 議長 尾野 進

広島県社会保障推進協議会

佐々木 宏・澤田カヨ子・橋本 和正

◎教育予算の拡充を求める意見書を国に提出してほしい。

提出者 広島県労働組合世羅支区 支区長 田丸 栄

◎老人クラブの補助金・委託金の配慮をしてほしい。

提出者 世羅町老人クラブ連合会 会長 安佐 敏明

◎残土を有効利用しグラウンドを整備してほしい。

提出者 代表 井上 忠則

議員発議

H20年第4回議会定例会で国、県の関係機関に6件の要望をした。

◎協同労働の協同組合法（仮称）の早期制定をしてほしい。

◎保険業法改定の趣旨に沿つて自主共済の適応除外をしてほしい。

◎業者婦人の健康と営業を守り、「所得税法56条の廃止」をしてほしい。

◎地域医療の確保・介護職員の増員をしてほしい。

◎「後期高齢者医療制度」の廃止をしてほしい。

◎教育予算の拡充をしてほしい。

世羅町選挙管理員及び補充員
選挙管理委員

（任期 H20年12月24日～H24年12月23日）

原田洋治 東上原
金田満眞 宇津戸
玉谷隆 本郷
平谷昭紀 黒川

補充員（任期 H20年12月24日～H24年12月23日）

升本 幸雄 新谷洋子 青近
中門出 喜郷國 小郷國



お知らせ

請願、陳情の受け付けは、定例会前月の20日前後に議会運営委員会を開催します。それまでに、議会事務局に提出して下さい。

どうする 町政の課題

一般質問

質問時間は1人45分、3問以内1問につき2回の再質問ができる。

議会は町の重要な意思を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する。そこでの議員は、行財政全般にわたって、執行者に疑問を質し、所信の表明を求めるという固有の権能をもっている。これが質問権であり、一般質問は定例会で行われる。

質問の範囲は町の行財政全般にわたる。質問に對して、質疑がある。これは議題となつてゐる事件に對する疑義の解説で、質問とは根本的に異なる。

質問は所信を質したり、事實關係を明らかにするにとどまらない時には政治姿勢を明らかにし、それに対応する政治責任を明らかにする。

議会は町の重要な意思を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する。そこでの議員は、行財政全般にわたって、執行者に疑問を質し、所信の表明を求めるという固有の権能をもっている。これが質問権であり、一般質問は定例会で行われる。

この逆に、議論の產物として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用されるなどの目的と効果がある。このようななことから議員、執行者とともに十分な準備が必要となるため、通告制としている。

●仙光 私たちの日常生活で欠かせないのが車であり道路である。財政難の状況下で新設改良は思いに任せない時代で、これからは維持管理が重要な仕事であると思う。

県道は、専門業者により道路側だけ年一回は草刈をしているが町道についている。これは地域にお任せというのが実態だ。しかし、地域での取り組みが無く個人で管理してきた人ができなくなり少ない年金の中か

らシルバー人材センターに依頼される事もある。今後の町道管理をどのようにしてゆくのか。■町長 道路における危険防止と通行の安全確保また、環境対策として世羅町シルバー人材センターに「町道管理業務委託契約」を結び実施している。約7



共同で草刈

県道は、専門業者により道路側だけ年一回は草刈をしているが町道についている。これは地域にお任せというのが実態だ。しかし、地域での取り組みが無く個人で管理してきた人ができなくなり少ない年金の中か

町としては申請により混合ガソリンの支給により、地域の協力をいただいているところだ。

地域の母体としての位置づけで、自治センターを窓口として地域の問題点を抽出し行政側と将来的検討をする。

12月11・12日の二日間、世羅町議会規則にそつて、一般質問を行つた。今回は14人の議員があらかじめ抽選した順序で、事前通告にそつて、延べ33項目について執行者の施策やその方針などの所信を質した。

一般質問とは

ることもある。

A **Q**
町道草刈管理は
今後の課題とする



仙光保喜議員

■ 豊田 国保会計には3億4千8百万円の基金があり、一世帯12万8千円余で、一世帯1万円以上の引き下げが可能であり決断を。資格証の発行は中止し、18歳以下にすべて保険証を。

A Q
国保税の
引き下げを
安定的運営
に努めたい

運営に努める。資格証は状況を勘案し対応するが、義務教育終了ま



はつらつ津久志小の児童

での人には発行しないことにした。

● 豊田 町長は、①町内企業に安易な解雇をさせないこと。及び、町の預託を受けた銀行が

貸し渋りしないよう要請せよ。(2)町民の緊急資金需要と住宅要求に応えること。

■町長 ①商工会を通じお願いしている。預託額の3倍の貸し出しを要請している。(2)可能な限り対策したい。

● 豊田 校園統合検討委員会は、教委の出した「素案」の通り統合を唯一の方向としている。文科省は無理にでも統合せよと通達しているのか。宇津戸では「学校を残せ」と陳情が出ていて、地域の声を尊重せよ。

● 仲行 町長選の結果は無投票であつたが、実績の評価で託されたのか疑問が残る。今後4年間の町政にどう取り組むのか。

わない。4年間の町政運営に対する厳しい批判、不満を受け止めたうえで、一層責任の重さを感じている。今後も厳しい財政状況は續くがマニフェストで示した町民との「約束」を実現し小さくてもキラリと光る町づくりを進めてゆく。

A 責任の重さを感じている
Q 無投票当選をどう受け止めるか

休園したつばき分園

● 仲行 保
育所再編整備で廃止される施設の今後のあり方、児童の送迎など保護者の要望

■町長 施設について
は地域振興協議会で検討していただき活用の方法を定める。
保育料の値下げを考えてはどうか。

で行つてゆく。
効果額については町全体の財政状況や総合的な視点で、今後の保育所運営や町全体の子育て支援事業に還元してゆく施策を検討する。

金のとおり保護者にお願いする。施設の整備では駐車場の舗装、トイレの改修を行い、内容では児童のふれあいや交流事業などを進めている。

A 町全体の子育て支援事業へ **Q** 再編効果額での保育料値下げは



大見商店街

Q 世羅町役場跡地の経過は円満な解決を目指す



岡田武士議員

れたと聞くが。

■町長 ①占有権、占

有の妨害の排除が認知され消防活動が継続で

き責任が果たせたと思

う。その後、相手方よ

り訴訟を提起されたた

め、引き続き審理が行

なわれる事となつてい

る。②相手方の訴訟の

対応（弁護士）費。③

弁護士が法解釈に基づ

き主張・弁論するもの

で、審理中の案件なの

で具体的な答弁は避ける。

●岡田 ①仮処分の申請は却下となり8月13日には町長は抗告しない方針を出したが、その後の対応は。②9月議会で弁護士費用を予算化したが、その内訳は。③仮屯所が30年間の使用権があると言わ



徳光義昭議員

Q 大見商店街が暗闇に組みに期待

みに期待。②要因として、補助金の削減と社会情勢の悪化で地元負担が増したため。

A 円満な解決を目指す

A 自主的な取り組みに期待

みに期待。②要因として、補助金の削減と社会情勢の悪化で地元負担が増したため。

●岡田 ①暗闇になつた経過は。②世羅商店街に補助金があるがなぜ生かせない。

■町長 ①H3年に旧世羅町において16基整備、管理は地元で一部補助をしていたが、料金の支払が困難となり消灯状態。今後、復活に向け自主的な取り組

●岡田 浄水場の跡地の有効利用法は。

■町長 過疎計画事業の位置づけを検討、有効利用を模索する。

A 町道に1.5車線の特例を得て活用したい

A 町道に1.5車線の特例を得て活用したい

●徳光 町道に、やむを得ない場合は、地域の裁量で造れる特例規定がある。大幅なコスト削減と工期の短縮が

●徳光 町道に、やむを得ない場合は、地域の裁量で造れる特例規定がある。大幅なコスト削減と工期の短縮が

Q 町道に1.5車線の特例を得て活用したい

Q 町道に1.5車線の特例を得て活用したい

●徳光 町道に、やむを得ない場合は、地域の裁量で造れる特例規定がある。大幅なコスト削減と工期の短縮が

●町長 交通量や家屋の少ない地域で、2車線道路を1車線や1・5車線に整備し、事業

費の削減と工期の短縮が図られ、財政効果は非常に大きい。今後地元町民の理解を得ながら活用したい。

A 小学校の統合に英断を

A 小学校の統合に英断を

●岡田 浄水場の跡地の有効利用法は。

■町長 過疎計画事業の位置づけを検討、有効利用を模索する。

Q 財政運営は堅財政改革の行

Q 財政運営は堅財政改革の行

●徳光 H20年は米国

の金融危機に端を発し、百年に一度の金融災害といわれ、本町の産業や一般家計の打撃は予想困難だ。町の財政運



1.5車線道路(新山線)

●徳光 小学校の統合については、子ども達に良い教育環境の整備が重要で、10年20年後の人口を見通した教育

●徳光 小学校の統合については、子ども達に良い教育環境の整備が重要で、10年20年後の人口を見通した教育

●町長 H16年地方債残約220億円が現在、196億円に減額し、公債費約25億円を償還している。

●町長 H16年地方債残約220億円が現在、196億円に減額し、公債費約25億円を償還している。

今後も人件費、扶助費、公債費など義務的経費の抑制と地方債の繰り上げ償還、起債の借り入れ抑制を図る。

Q 雇用確保と企業誘致は地域力の向上に必要



福田義人議員

A **雇用確保と企業誘致は地域力の向上に必要**

■町長 雇用安定策は、所得の安定をもたらし、ひいては地域力の向上に繋がる。

●福田 急激な景気後退と雇用不安、企業誘致にどう対応するか、不安定労働下では購買力が伸びない、将来に向けた雇用安定策、就労確保がなくては、人口流失が止まらない。



ハローワーク尾道

企業誘致及び産業振興策には上下水道の整備が必要と思う。

また、障害者の就労開通に合わせて、寺町

設を企画してはどうか。

Q 今後の道路改良は早期の開通をめざす



矢山 武議員

A **今後の道路改良は早期の開通をめざす**

■町長 県は、H21年度建設事業費を14%削減の方向で、早期完了を要望する。トンネル部分はH25年完成を。

中安田・田打線はまだ京丸地区が2億円分残っており、今は計画がない。

●矢山 後継者の育成で農地を守れ

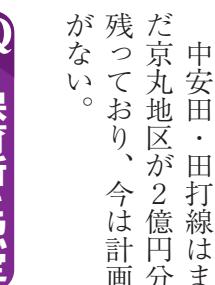
農業後継者育成が必要であり農地を守り、イノシシなどの被害対策の強化を求める。

●矢山 後継者の育成で農地を守れ

ため池改修を進めるため負担減をはかれ。町長 町の施策としては困難である。イノシシ被害が増加しており、国・県の対策を利し被害防止、保護体制を強化。

滯納管理システムはH22年度までに行うよう検討する。縦割り行政の払拭、債権回収情報の一元化は、管理回収組織を検討する。

Q 保育所と認定こども園は努力をする



町道安田徳市線工事

A **保育所と認定こども園は努力をする**

■町長 県は、H21年度建設事業費を14%削減の方向で、早期完了を要望する。トンネル部分はH25年完成を。

保育所は、自由な選択により入所できる。

Q 今後の道路改良は早期の開通をめざす



矢山 武議員

A **今後の道路改良は早期の開通をめざす**

■町長 県は、H21年度建設事業費を14%削減の方向で、早期完了を要望する。トンネル部分はH25年完成を。

中安田・田打線はまだ京丸地区が2億円分残っており、今は計画がない。

●矢山 後継者の育成で農地を守れ

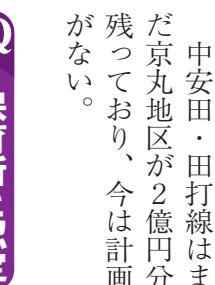
農業後継者育成が必要であり農地を守り、イノシシなどの被害対策の強化を求める。

●矢山 後継者の育成で農地を守れ

ため池改修を進めるため負担減をはかれ。町長 町の施策としては困難である。イノシシ被害が増加しており、国・県の対策を利し被害防止、保護体制を強化。

滯納管理システムはH22年度までに行うよう検討する。縦割り行政の払拭、債権回収情報の一元化は、管理回収組織を検討する。

Q 保育所と認定こども園は努力をする



町道安田徳市線工事

A **保育所と認定こども園は努力をする**

■町長 県は、H21年度建設事業費を14%削減の方向で、早期完了を要望する。トンネル部分はH25年完成を。

保育所は、自由な選択により入所できる。

Q 今後の道路改良は早期の開通をめざす



矢山 武議員

A **今後の道路改良は早期の開通をめざす**

■町長 県は、H21年度建設事業費を14%削減の方向で、早期完了を要望する。トンネル部分はH25年完成を。

中安田・田打線はまだ京丸地区が2億円分残っており、今は計画がない。

●矢山 後継者の育成で農地を守れ

農業後継者育成が必要であり農地を守り、イノシシなどの被害対策の強化を求める。

●矢山 後継者の育成で農地を守れ

ため池改修を進めるため負担減をはかれ。町長 町の施策としては困難である。イノシシ被害が増加しており、国・県の対策を利し被害防止、保護体制を強化。

滯納管理システムはH22年度までに行うよう検討する。縦割り行政の払拭、債権回収情報の一元化は、管理回収組織を検討する。

健全な財政は実現可能か

A 危機的状況は回避

いるか。

理化など削るところが残されていない。

今後は民間委託の推進、定員管理及び給与費の適正化などが中心となつてくる。



中村幸雄議員

●中村 財源の安定確保をどこに求めるのか。

歳出の大幅な削減は何を削減するのか。

●町長 財源確保は活用見込みの無い公有財産の処分や、企業誘致、公の施設の再編整備。物件費の経費削減合



くい市民病院

Q 政策宣言の実施は確実か

A 全ての政策実施は前向きに検討

●中村 マニフェスト中の産業・医療体制・自治活動をどう考えて

くい市民病院との統合は地域住民の意向調査結果と両病院の現況等をもとに検討する。

●町長 医療費助成制度を、中学生までに拡大することについては、財政状況をもとに検討する。

●奥田 統合を控え保育サービスの充実・若者定住策が明確でない。保護者と子どもがストレスを感じない体制にすべきだ。相談機能もあるが退所するケースが多い。育児期間とし

任において行って頂きたい。

押印廃止は、県内でも取り組まれているが、

住民に迷惑をかけないよう慎重に進めてゆきたい。



楽しく遊ぶ小国保育所園児

Q 上水道・簡易水道への予定の取り組みは

A で次期過疎計画で検討する

●奥田 周辺部では山林の荒廃や雨量不足等により井戸戸水等の出が悪くなり水質も悪化している家庭もある。定住策も含め助成すべきだと考えるが。

●町長 未普及地域は大字あるいは集落単位で15地域、人口対応28.4%になつていて。共同での飲料水供給施設等は法律で技術管理者、あるいは、健康診断が義務づけられる。加入率や財源確保を含め検討課題であると考える。

13

Q 人事評価、行政評価は検討し実施する



永田英則議員

るところで年度末に評価結果が出る。一般職

●永田 H18年に策定された、世羅町人材育成基本方針に基づき導入された経過結果は。行政評価についての考えは。

■町長 管理職員に対し導入を行つてきてい



さかえ浄水場

員に対しては来年度から実施したい。試行の実施については職員組合と交渉を行つていて検討し実施する。行政評価の導入に向けたシステムの構築について検討し実施する。

Q 年末の上京陳情の必要性は

●永田 ①年末の予算陳情で成果はあつたか②年末の上京陳情を今後も続けるのか③補助金行政についての基本的な考え方。

■町長 ①住民の最も身近な基礎自治体と役割の重要性などを訴えることで成果がある②地域より発展させる道筋となる限りは続けてゆきたい③地方独自に構成された機関において、判断者などにより構成された機関において、判断の展開が可能になるよう要請を続ける。

Q 手数料、使用料の算出方法は学識経験者による判断

●永田 手数料使用料は低額であることは当然であるがその算出方法はどうか。町の財政事情や受益者の応分の負担の観点などによつて適

切に決定してきたところで、今後は学識経験者などにより構成された機関において、判断を委ねるべきでではないかと考える。



多重債務の相談窓口は総務課

Q 多重債務の相談窓口は身近な役場へ相談を



西田美喜男議員

関する相談窓口はどのようになつてゐるのか。

また、相談者数は、

■町長 H19年4月に生活安全相談窓口を設

置。

相談受理件数はH19年に6件、H20年は7件。

多重債務問題は、早期に解決すべき問題で

あると考へて、職員の研修会や教養講座を受講させ、複雑な相談にも対応できるようになつてゐる。

Q 町道の草刈りどう取り組む

●西田 町道の草刈りは高齢化により将来を危ぶむ方が多くなつた。町として対策が必要と考えるが。

■町長 高齢者地域への対応は自治センターを窓口とした施策が必要と考へてゐる。

今後、地区振興会で

問題点として、高齢者地域を把握してもらい、その地域の将来がどうあるべきか、そのためには何をすることが、町づくりの一助となるのかを地域で考へていいただき、そこに行政がどう支援できるのかを議論してゆくことが必要と考へる。

Q 人事評価、行政評価は検討し実施する

るところで年度末に評価結果が出る。一般職

員に対しては来年度から実施したい。試行の実施については職員組合と交渉を行つていて検討し実施する。行政評価の導入に向けたシステムの構築について検討し実施する。

Q 年末の上京陳情の必要性は

●永田 ①年末の予算陳情で成果はあつたか②年末の上京陳情を今後も続けるのか③補助金行政についての基本的な考え方。

■町長 ①住民の最も身近な基礎自治体と役割の重要性などを訴えることで成果がある②地域より発展させる道筋となる限りは続けてゆきたい③地方独自に構成された機関において、判断者などにより構成された機関において、判断の展開が可能になるよう要請を続ける。

Q 手数料、使用料の算出方法は学識経験者による判断

●永田 手数料使用料は低額であることは当然であるがその算出方法はどうか。町の財政事情や受益者の応分の負担の観点などによつて適

切に決定してきたところで、今後は学識経験者などにより構成された機関において、判断を委ねるべきでではないかと考える。



多重債務の相談窓口は総務課

Q 多重債務の相談窓口は身近な役場へ相談を



西田美喜男議員

関する相談窓口はどのようになつてゐるのか。

また、相談者数は、

■町長 H19年4月に生活安全相談窓口を設

置。

相談受理件数はH19年に6件、H20年は7件。

多重債務問題は、早

期に解決すべき問題で

あると考へて、職員の研修会や教養講座を受講させ、複雑な相談にも対応できるようになつてゐる。

Q 年末の上京陳情の必要性は

●永田 ①年末の予算陳情で成果はあつたか②年末の上京陳情を今後も続けるのか③補助金行政についての基本的な考え方。

■町長 ①住民の最も身近な基礎自治体と役割の重要性などを訴えることで成果がある②地域より発展させる道筋となる限りは続けてゆきたい③地方独自に構成された機関において、判断者などにより構成された機関において、判断の展開が可能になるよう要請を続ける。

Q 手数料、使用料の算出方法は学識経験者による判断

●永田 手数料使用料は低額であることは当然であるがその算出方法はどうか。町の財政事情や受益者の応分の負担の観点などによつて適

切に決定してきたところで、今後は学識経験者などにより構成された機関において、判断を委ねるべきでではないかと考える。

Q イノシシ対策は 抜本的に検討する

A



福田 豪議員



捕獲イノシシ

●福田 イノシシ被害
は農作物だけでなく、
畦畔や路肩、水路に及
び、周辺地域では生活
までが脅かされようと
している。農業を基幹
産業とするならば、被害
が脅かされようとして
いる。有効・可能と判断
される手
法は、施
策として
主導し先
鞭をつけ
ることは
当然の責
務では。
バイオ
マスは民
間でも調
査研究さ
れている。
町は指導
すすめたい。

をこれ以上拡大させな
い対策が求められるが。
■町長 被害の拡大状
況から判断して、從来

どおりの対策では無理
だと考える。

「鳥獣害防止特措法」
や県の「イノシシ駆除
対策」を活用し、関係
者と協議しながら、新
年度に向け、抜本的な
対策を検討している。

Q バイオマス構想の策定は 私の政策宣言でもある

A

バイオマス構想の策定は

●福田 地球規模で環
境対策が求められてい
る。有効・可能と判断
される手
法は、施
策として
主導し先
鞭をつけ
ることは
当然の責
務では。

■町長 バイオマス利
用は何件かの照会があ
る。補助事業を活用し
て事業展開するには
「バイオマスプラン構
想」の策定が条件にな
る。今年度「賦存量調
査」をし、新年度に構
想策定したい。

●町長 バイオマス構
想の策定が条件にな
る。補助事業を活用し
て事業展開するには
「バイオマスプラン構
想」の策定が条件にな
る。今年度「賦存量調
査」をし、新年度に構
想策定したい。



高齢者向け賃貸マンション建設予定地

Q 自己財源の確保は 企業誘致の体制整備を進める

A

自己財源の確保は 企業誘致の体制整備を進める

●松本 国家財政再建
のもと地方自治体に權
力を持ったままである。い
くら福祉の充実・サービスの充
実をとなえても肝心な財
源がなくては出来ない。
今後企業誘致を含め、
世羅町の特性を生かし
た更なる財源確保のた
めの考え方を問う。

■町長 企業誘致に関
しては、重要な課題と
考へる。調査、手法の
検討を行い、道路網の
整備と合わせた政策を
進めてゆきたい。

●町長 企業誘致に関
しては、重要な課題と
考へる。調査、手法の
検討を行い、道路網の
整備と合わせた政策を
進めてゆきたい。

観光の振興に関して
は、観光農園を含め全
町公園化構想による觀
光振興に努め、そして
農作物については伸び
る傾向にあるが、集落
基幹産業である農業の
農業からの参入を進め
法人の育成、農業外企
業からの参入を進め
地盤を固めてゆく考
えである。

また、新たな特産を
用いた加工品の開発を
進め農家所得の向上を
目指してゆく。

限と、責任が大幅に拡
大し、財源においても
中山間地域においては
町税の伸びも望めず、
今まで財政改革に取り
組んできたが、明るい
兆しが見えてきたもの
の、それ以上に少子高
齢化により、サービス
の充実が望まれる現状
である。いくら福祉の
充実・サービスの充
実をとなえても肝心な財
源がなくては出来ない。
今後企業誘致を含め、
世羅町の特性を生かし
た更なる財源確保のた
めの考え方を問う。

元気な人紹介

1200人の会員さんと 安全安心な食物の供給を



佐古淳子さん

世羅農業公園ファームーズマーケットの指定管理者選定議案が可決され、その代理理事の佐古淳子さんにインタビューしました。

このファームーズマーケットは、町内の農業者グループがお互いの農産物を販売することです。

経営の安定を図ろうとするものです。

佐古さんは京都出身で、大学卒業後、酪農経営をされていたご主人と結婚されました。

都会育ちの佐古さんは、最初は農業にあまり関心がなく、農業改良普及所の生活改善グループの活動に参加するぐらいでした。H6年、県が主催する生



ファーマーズマーケット

農業をしていて良かつたと思える人生に

安全が脅かされています。

夢高原市場では、59団体、千

2百人の会員と共に、本当に安全安心な食べ物を供給してゆくことが必要と考え、思いをひとつにし、山菜などを活用した特産物の開発に取り組んでおられます。

子どもたちには安全安心な食

べ物で育つてもらいたいと願っています。特に、学校給食現場では、地元の農産物を是非使って頂きたいと思います。

今後、会の皆さんと共に農業をしていて良かった、ゆとりが出来て良かったと思える人生にしたい。

日々一歩ずつ向上してゆきました。

改善グループのヨーロッパ研修参加者の15人に選ばれ、メンバーの方々の農業に対する取り組み方、考え方方に触発され、農業には、いろんなスタイルや、やり方があり、努力すれば結果が出る。農業はやりがいがあることに開眼し、世羅の地の農業に夢を描いて活動を続けられて、この地のリーダー的存在になつておられます。



編集作業風景

編集後記

されない状況です。

世の中は、アメリカ

・サブプライムローン問題に端を発し、百年に一度の大不況と言わ

なりました。

振り返れば、財政再

建に力をそいだ4年

間であり、住民の皆さんには我慢ばかり押し

つけることとなり、申

し訳ない気持ちでいっ

ぱいです。

多少の明かりは見え

てきたものの油断は許

りません。

議会も新体制となり「継続する世羅町」を

今後とも忌憚のないご意見・ご感想をいた

だければ幸いです。

広報誌の作成を目指し

ます。

員は今以上に「読みや

耳を疑うような報道が

飛び交い先行きが不安

に感じられる毎日であ

ります。

とが議員の使命とし、

一丸となつて取組んで

ゆく決意です。

そして、我々広報委

員は今以上に「読みや

耳を疑うような報道が

すぐ・わかりやすい

目指し、代表として住

民の思いを伝え、実現

議会広報公聴	委員長／福田 義人
調査特別委員会	副委員長／松本 秀治
	委員／西田美喜男・安佐 長秀
	福田 豪・奥田 正和

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は3月です

詳しくは無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビで本会議の中継をしています。